



**第一の転機**  
急性期看護技術を  
習得するために病院  
変更

**第二の転機**  
心不全患者との  
出会い

**第三の転機**  
慢性心不全看護  
認定看護師との  
出会い



半田 一生さん  
循環器内科病棟勤務

21～25歳

**新人看護師時代**

新人時代は神経内科病棟に勤務し、難病患者との奮闘の日々を送る。その後重症心身障害児病棟勤務となる。新人時代は毎日のケアで精一杯であり、これといった目的も明確ではなかった。稀に訪れる急変に慌てふためき、自分の進むべき道を探すようになった。

26～27歳

**心カテ室での奮闘**

全国でもトップクラスを誇る心カテ室勤務となる。毎日重いプロテクターを身に着け、狭心症・心筋梗塞患者の検査・治療に関わり、循環器疾患の学びを深める。一方で、患者と関わる時間が短く、物足りなさも感じるようになっていた。

28～32歳

**心不全患者との出会い**

循環器病棟に異動となる。様々な患者と関わり学びを深めた。この頃、再入院を繰り返す1人の心不全患者と出会い、心不全を抱えながら生きる苦悩や、それを支える家族の想いに気付かされた。更に心不全患者への学びを深めたいと考え、認定看護師への道を目指すようになった。

33歳～現在

**慢性心不全看護認定看護師として活動開始**

2013年、認定教育課程を修了し、病棟に復帰する。現在、循環器内科心不全チームのリーダーを努め、勉強会の企画から講師と活動を開始している。患者・家族とスタッフ教育の両立とそのシステムの基盤を作る為に日々奮闘中。

慢性心不全看護認定看護師は2012年に新たに認定され、もうすぐ4年が経過します。資格保持者は全国で238名で、東北地方では2016年現在11人という現状です。

心不全患者は再入院することが多く、患者・家族への教育が最も重要です。そのため、患者・家族支援、病棟スタッフ教育に取り組んでいます。更に、心不全看護の質の向上、教育基盤の体制構築のため粉骨砕身取り組んでいます。当院はスキルアップするためには、とてもよい環境だと実感します。これから一緒に看護の道・心不全看護を学んでみませんか？

- 2001年3月：花巻高等看護専門学校卒業
- 2001年4月：国立療養所宮城病院入職
- 2005年5月：一般財団法人厚生会仙台厚生病院入職  
心臓血管カテーテル検査室勤務
- 2007年2月：循環器内科10階病棟勤務
- 2012年10月：北里大学看護キャリア開発センター  
「慢性心不全看護」研修開始
- 2013年3月：研修修了 4月に病棟に復帰、現在に至る